



地域を変える

POWER!!

地域おこし協力隊 活動報告 茂又久美子さん



2021年は、岸良海岸から見た初日の出で始まりました。雲の間から出てきた初日の出は幻想的で力強く、今年1年良い年になる兆しを感じました。

そして、私が肝付町に来てから今日に至る迄、社会の仕組みがどんどんオンライン化される中で、人が集まって何かをする事が難しい状況が続いています。

私は、何か楽しいことをみなさんとして考えていたので、それがなかなか出来なくてとても残念に思っています。でもそんな中でも、お料理教室やクラフト教室、墨絵教室などの講座でみなさんと一緒に作業をしている時間が楽しいです。

また、毎月キタタンカフェで開かれる「みんな食堂」のお手伝いも、楽しみにして

いることの1つです。毎回みんなワイワイと笑いながらお料理の準備をしていて、時にハプニングが起こっても、笑って乗り越えてしまう…。そこら辺に団結力を感じますし、そういった活動を続けていることがステキなことだと思います。地域の皆さんも楽しみにしているようで、いつもすごい数の予約が入ります。やはり、みなでご飯を食べることは楽しいですね。それも、ずっとテイクアウトだけになっていて残念です。

やはり、どんな時でも人との繋がりや、オンラインではなく直接会って話しをすることは必要なことだと思います。

私も、早くみなさんと一緒に楽しいことが出来るように願っています。



京和の (イベント編) お国自慢

《春を告げる光陽梅花文化祝祭(광양매화문화축제)》

春が早いこちらでは、もう梅の花が咲き終り、桜の花が咲き初めている時期ですが、韓国では3月になつてようやく梅の花が咲き始め、春が来たことを知らせます。韓国の南に位置する全羅南道・光陽市で1997年から始まった《クアンヤン・メファ・ムンファ・チュクジェ(광양매화문화축제)》は、毎年100万人以上がお訪れ韓国の春を代表する全国有数のお祭りです。お祭りの舞台となるメファ・マウル(매

화마을, 梅村)は蟾津江・川沿いの白雲山の麓に位置し、約33万㎡にわたって、10万本以上の様々な種類の梅が咲き揃います。お祭りの時に遊歩道の頂上に登ると、梅の花が満開になつた梅村や蟾津江が山水画のように一望でき、絶景が楽しめます。この美しい景色は《酔画仙》《茶母》などのドラマや映画の背景として使われたりもしました。お祭りの期間中には梅の染色体験、渡し船体験、梅料理作りや試食会など、様々なイベントが行われますので、機会があればぜひ一度お立ち寄りください。



李 京和 (イ キョンファ)
地域おこし協力隊として活動中。韓国語講座や韓国料理教室などを行っている。